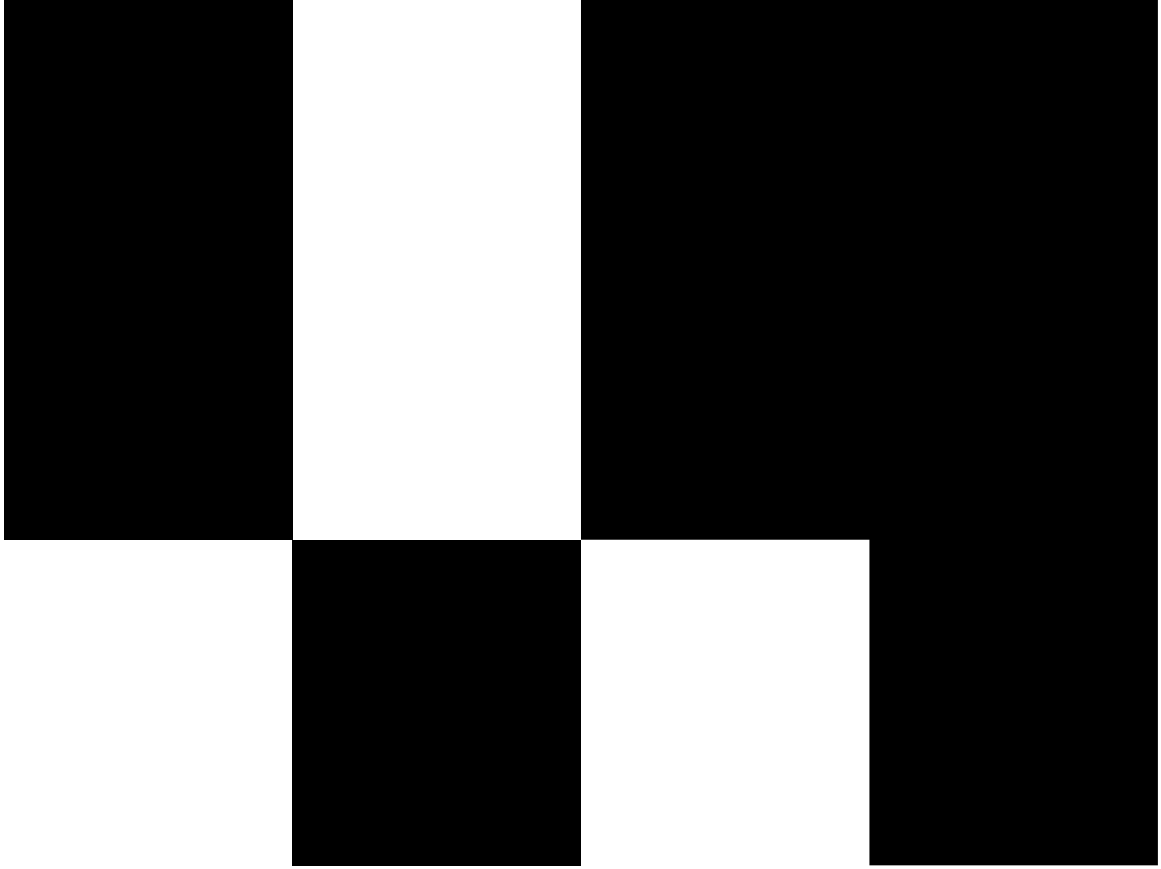




corporate profile

コマニーは半世紀以上、
パーティションをつくり続けてきました。
しかし、私たちが本当につくってきたのは、
単なる壁ではありません。
オフィス、工場、病院、福祉施設、学校…。
そこにはいつも人がいて、
働き、学び、語り合い、成長してきました。

同じ人でも、いる場所が変わると行動が変わります。
話しやすい場所では対話が生まれ、
挑戦しやすい場所では新しい一歩が生まれる。
人は環境の影響を受けながら生きています。

だから私たちは、空間そのものではなく、
その空間によって生まれる体験や関係性、
そして人の変化に価値があると考えています。

私たちが目指す「間づくり」とは、
単に空間を仕切ることはありません。

人と人が繋がる。
挑戦する勇気が生まれる。
未来への希望が育まれる。
そんな、人の可能性を引き出す間をつくることです。

間が変われば、人が変わる。
人が変われば、組織が変わる。
組織が変われば、
社会はもっと良くなっていく。

だから私たちは、これからも間をつくり続けます。
一人一人が、自分らしく光り輝けるように。

Empower all Life

いきいき働こう
美しく過ごそう
面白く生きよう
さあ、間づくりしよう

我々は、
間づくりカンパニー
である



■ トップメッセージ ■

間づくりでEmpower all Lifeを実現する

コマニーは本年、創立65周年という節目を迎えることができました。これまで私たちの歩みを支えてくださったお客様、お取引先様、地域社会の皆様、そして共に歩んできた従業員一人一人に心より感謝申し上げます。私たちは創業以来、「人道と友愛」の精神のもと、経営の理念である「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」ことを目的として活動してきました。

私たちは間仕切メーカーとして創業し、快適で機能的な空間づくりを追求してきました。そして現在は、製品を提供するだけにとどまらず、人と人、人と組織、人と社会の関係性をより良いものへと変えていく「間づくりカンパニー」として、新たな価値創造に挑戦しています。私たちが考える「間」とは、単なる空間だけではありません。そこに集う人の想い、対話、行動、関係性が生まれる場であり、一人一人の可能性を引き出すための大切な環境です。

今の社会を観察してみると、生産性や機能性だけでは測れない価値がますます重要になってきていると感じます。だからこそコマニーは、「間づくりで Empower all Life を実現する」というビジョンを掲げ、働く人が自分らしく力を発揮し、組織が互いの違いを活かし合い、社会全体がより豊かに循環していく未来を目指します。ウェルビーイングを経営の中心に据え、日々の選択と実践を積み重ねながら、お客様と共に課題の本質に向き合い、空間の先にある価値を創り出してまいります。

これからもコマニーは、変化を恐れずに「間づくり」の本質を問い続け、進化し続けます。「人道と友愛」の精神を胸に、すべての人が自分らしく光り輝くことのできる社会の実現に向けて、挑戦を続けてまいります。



代表取締役 社長執行役員

塚本 健太

間仕切メーカーから 間づくりカンパニーへ

間づくり、人づくりの時代へ

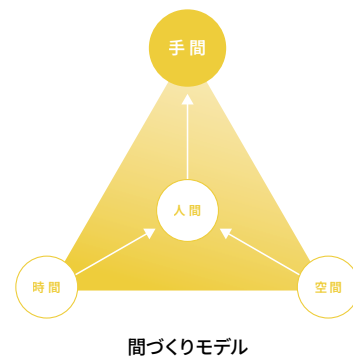
社会課題・環境変化に対応した
新しい価値創造

私たちは、創業以来「間づくり」に向き合ってきました。これまで築き上げたパーティションの技術をさらに発展させ、事業活動を通じてさまざまな社会課題解決に取り組んでいます。「間づくりで Empower all Lifeを実現する」という目標に向け、「人」がより豊かな人生を送るための「間づくり」と「人づくり」に貢献していきます。

間づくりとは すぐれた間を生成すること

「間(二つ以上の要素がある場合に生成される関係性)」をより良い方向に整えると、「すぐれた間」が生成されます。このように「すぐれた間を生成すること」を「間づくり」と定義し、その可能性を追求しています。

「間づくりモデル(下図)」は、多様な意味を持つ「間」を扱ううえで、すぐれた間を生成するための考え方です。「人間」を中心に「時間」「空間」を捉え、それにどのような「手間」をかけるかによって、さまざまな間が生まれます。これらの要素を大切に「間づくり」の実績を積み上げていきます。



オフィスを間づくり

ウェルビーイングな働き方を実現するため、全国のオフィスを順次リニューアルしています。単に空間を整えるだけでなく、「どのような環境であれば最も幸福に働けるのか」を追求し、従業員自身がオフィスのコンセプトやレイアウトを企画しています。また、定期的にレイアウトを見直すことで、オフィス自体がよりよい働き方を探求する場となっています。



間づくり研究所の活動

私たちは「間づくり」をさらに加速させるために、2023年4月10日「よい間の日」に「間づくり研究所」を開設しました。この取り組みは、事業の枠を超え、人を中心に「働き方」そのものを見つめ直しながら、日々の課題を自ら観察し、解決策を試し、知見と実績を積み重ねる場です。全従業員が「間づくり研究員」として参加し、従業員一人一人の「こんな働き方をしてみたい」という想いをカタチにしていく中で、新たな発想や挑戦が数多く生まれています。



間づくり研究所

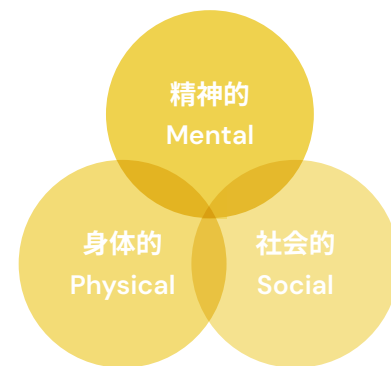
そこに過ごす人にとって本当に「すぐれた間」を考える

コマニーの考える「Well-beingな空間づくり」とは？

すぐれた 間
Well + being = 幸福

「人間」という単語を英語で「Human-being」と表すことから、「Well-being（幸福）」は「すぐれた間」でこそ実現できると考えました。

WHO（世界保健機関）は「Well-being」について、「病気や怪我がないだけでなく、身体的・精神的・社会的に健康な状態であること」と定義しています。私たちは、「身体的・精神的・社会的に健康に過ごせる空間」を「すぐれた間」と定義し、「すぐれた間」を創造することで、そこに過ごすすべての人たちが「幸福」になり、より高い創造性と生産性をもって働ける空間を実現しています。それが、コマニーの考える「Well-beingな空間づくり」です。



精神的なWell-beingを意識した空間づくり

自然を取り入れることで集中力が上がる

Natural



木漏れ日を表現したデザインがやすらぎをもたらす

リフレッシュスペースの導入は生産性を向上させる

Relax



ゆるやかに仕切られた空間が生むリラックス効果

身体的なWell-beingを意識した空間づくり

自然光を取り入れ健康に過ごす

Light



サーカディアンリズムを整える
美しい光の空間

安心安全に過ごす

Safety



高耐震間仕切 Synchron（シンクロン）

遮音／耐火で快適に過ごす

Comfort



ファクトリーブースで
工場や作業場にすぐれた快適性を

社会的なWell-beingを意識した空間づくり

シーンや目的に合わせて自由に「仕切る」

Flexible



自由で柔軟な学びの空間

社員同士の交流を促し創造性を高める

Communication



「人」を中心に働くを考えるオフィス



その他Well-beingな
空間づくりについては
こちらをご覧ください。

<https://www.comany.co.jp/works/well-being-kuukan-dukuri/>

1 オフィス市場

多様な働き方を実現し 一人一人が光り輝くために 「働く」を間づくりする

働き方、働く場所を自由に選択することができる今日、
「オフィス」で働く価値が見直されています。
単に空間を仕切るだけでなく、
働き方や場面に合った間づくりを意識し、
働く人が高いパフォーマンスを発揮できる
オフィス空間を提供していきます。



鹿島建設株式会社 中部支店様 (BRIDIA, EAD)



Relax



人と空間の新たな距離感を追求したパーティションで、オフィスに快適性と柔軟な空間活用をもたらします。



Communication



リモートワークを経験したことで、オフィスでのコミュニケーションの重要性が見直されています。出社に意義が求められる時代に、そこに集まるワーカーが創造性を生むコミュニケーションプレイスを間づくりで実現します。



日本ビジネスシステムズ株式会社 福岡事業所様 (DP-80S)



NECネットエスアイ 日本橋イノベーションベース様 (Xis、Xis-Frame)



PDRファーマ株式会社様 (Xis)



株式会社Maristo様 (Xis、Xis-tone)



環境・インフラ関連会社様 (Xis)



SSEパシフィック株式会社様 (BRIDIA)



THE VILLAGE OSAKA (運営: いちご地所株式会社) 様 (KOUSHI)



株式会社インフォネット様 (Xis、FF-Door)



株式会社レイ様 (SW)

2 工場市場

専門性の高い 安心安全の間づくりで 人と技術を守り育てる

さまざまな法令への対応や
BCPを見据えた非常時への備えをはじめ、
働きやすさと働きがいを感じられる環境づくりを通して、
日本のものづくりや技術の発展と
それに携わる人々の幸福に貢献します。



大和化成工業株式会社様 (CR)



Safety



通路や会議室を中心に、高耐震間仕切 Synchron (シンクロン) を導入することで、地震発生時に避難経路がふさがれるのを防ぎ、事業のスムーズな再開に貢献します。



Comfort



工場用ルームの設置によって、温度調整や騒音軽減が実現し、ストレス・作業効率の改善が期待できます。休憩室としても活用できることから、スタッフの方々にとって快適な空間を提供し、幸福度や生産性の向上にも貢献します。



イグス株式会社様 (BRIDIA、DP-80S)



工業関係製造会社様 (CR)

3 病院・福祉市場

利用者もスタッフも 安心できる「やさしい」 間づくりをサポート

医療施設や高齢者福祉施設には、そこで過ごす
すべての方にとってやさしい環境づくりが必要です。
ご利用いただく方の不安をやわらげ、
施設を支えるスタッフの皆様にも、
やすらぎを提供いたします。



「やさしいドア」は、目地や表面材の工夫によりデザインの自由度が高く、
空間ごとに異なる間づくりを実現します。さらに、家族の写真や思い出
の品を部屋の目印として飾ることができる「やさしいポケット」など、使
う方に寄り添った商品開発を行っています。



休憩室は、スタッフの方々がリフレッシュし、コミュニケーションを取
るための重要な場所です。ソーシャルディスタンスを意識しながらも、
コミュニケーションを取りやすく、居心地の良い空間をご提供します。



イリーゼ坂戸様



特別養護老人ホーム しょうじゅの里 三保サテライト様



ラヴィーレ元住吉様



特別養護老人ホーム ラスール長沢様



特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 一之江様



社会福祉法人東京援護協会 東京高次脳機能障害者支援ホーム様

4 学校市場

間づくりで 子どもたちや先生に 最高の学び舎を提供

少子化問題や、新たな授業スタイルの導入を見据えた教室づくりが求められる中、私たちは常に子どもたちや先生が生き生きと過ごせる空間を考え、学校における間づくりを進めていきます。



大学などのコミュニケーションスペースでは、偶発的な出会いを創出する空間デザインが求められ、ガラスパーティションが採用される機会が増えています。空間デザインに合わせて、自動ドア周りの駆動部分を天井内に隠しガラス面を大きく見せる工夫など、技術スタッフ部門がお客様のご要望にお応えします。



学びのスタイルが多様化する今、学校空間にはさらなる柔軟性が求められています。授業形態に応じて自在に変化するパーティションで、学習環境の可能性を広げます。



慶應義塾大学様 (DP-60S)



明治学院大学 横浜キャンパス様 (BRIDIA)



宇都宮大学様 (DP-60S)



東京都市大学 横浜キャンパス様 (BRIDIA)



杉並区立中瀬中学校様 (SW、DP-60S、SPart)



1 日常に安心をお届けする

私たちはお客様に安定した品質・機能を持つ商品をお届けすることを追求しています。
そのため国内基準よりも厳しい社内基準を定め、
社内・社外試験を実施し、基準に適合した商品開発を行っています。

安全への取り組み

シンクロン
Synchron

新しい発想から生まれた、 高耐震間仕切

業界初。パーティションと天井との関係性に着目し、
使用状況に近い吊り天井が動く激しい条件で検証。
そこからシンプルで経済的、
実効性の高い耐震システムが誕生し運用。



〈震度7 三次元加振試験 実験映像〉を
動画でご覧いただけます。

<https://www.comany.co.jp/videoarchives/synchron.html>



強さを生み出す、パーティションと 建物とのつながり構造

耐震実験を繰り返し、耐震仕様の設計、部材の連結金具を最適化し、天
井や床と適度な強度でつながりを持ったパーティションを設置すること
で、しなやかな強度が生まれます。

汎用性が高く、導入しやすい Synchron

シンクロンは既設パーティションへの後付けにも対応し、レイアウトの
自由度を損なうことなく導入が可能です。さらに近年では一部製品への
標準搭載も進み、より身近で選ばれる耐震機能へと進化しています。

各性能試験



走行試験



〈品質試験への取り組み〉を
動画でご覧いただけます。

<https://www.comany.co.jp/videoarchives/inspection.html>



衝撃試験

人体そのものや、いすの脚または持物が
ぶつかる場合を想定して、耐衝撃性能を
確認しています。



走行試験

移動壁用の走行装置の走行及びエンド部に
繰り返し衝撃を加えることで、日常の使用
から生じる各部位の破損状況や、走行性能
の変化を確認しています。



面内変形試験

地震による建築物の変形（高さの1/50の
面内変形）に対して耐えうる性能を確認し
ています。



ドア開閉
繰り返し試験

納入場所の状態にあわせて試験体を設置し、
ドアとドアセットの耐久性を確認していま
す。ロックの変更時はロックを開閉する動
作も追加します。

施工

コマニースマート施工

ーコンセプトー「お客様起点の心で考え、技でカタチにする施工。」
お客様の声や状況を起点に、安心していただくために何をすべきかを考え、すぐれた
段取り・洗練された所作・確かな技術によって、確実にカタチにしていけることです。

ー目的ー

- ① お客様に安心を届け、満足していただく
- ② 施工者自身の成長とやりがいを育てる
- ③ 建設業界を誇れる仕事にする

スマート施工士

コマニー独自の社内認定資格制度により、一定の施工技術・知識を有する施工技術者
を「スマート施工士」に認定しています。



2 やさしいをカタチにする

人にやさしいものづくりを目指し、すべての人が便利に、快適に使える商品をご提供するために、

ユニバーサルデザインの研究を続けています。

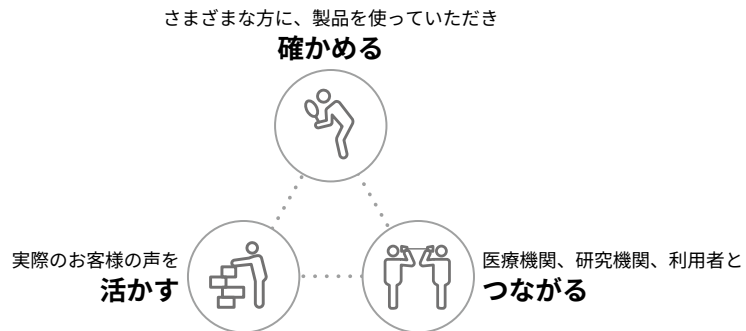
特に実証実験にこだわり、さまざまな方からいただいた具体的なお意見を商品開発や間づくり提案に活かしています。

ユニバーサルデザインへの取り組み

- ① 安心して使えること
- ② 無理な体勢にならないこと
- ③ 誰もが快適に使えること
- ④ 選択できること

4つの原則を大切に

ユニバーサルデザインに取り組んでいます。



みんなにやさしく

Dear-d^{ディアード} コマニーではユニバーサルデザインを20年以上研究し、ワークショップなどを通して、当事者の生の声を活かした商品開発を行っています。障害のある方だけでなく、妊婦や大きな荷物を持った方など、すべての利用者がストレスなく利用できることが目標です。ユニバーサルデザイントイレ「Dear-d(ディアード)」は、健常者・障害者とも使いやすいトイレとして国内主要空港に採用され、2016年にはグッドデザイン賞を受賞しました。



Dear-d は成田国際空港、東京国際空港、オリンピック競技場などの大型施設をはじめ、数多くの医療・福祉施設などに採用されています。



GOOD DESIGN
AWARD 2016

グッドデザイン賞審査委員会の講評

公共の設備は健常者のために考えられており、障害者用の設備は特別な物が多い中、本来はどんな人でも同じように使用できるように考えるのがUD(ユニバーサルデザイン)である。このトイレブースは見た目には一般のトイレと変わらないが、障害者が健常者と同じように普通に使える機能を備えている。使い勝手が細かく考えられており、実際に検証を重ねすべての人に使いやすいようになっているところがすばらしい。

やさしいへのこだわり

やさしいドアシリーズ

病院や福祉施設が無機質な空間では患者様や入居者の皆様、そしてそこで働く人々の心までは明るくすることができません。

私たちは、すべての人々が明るく元気になる「やさしい」間づくりを目指し、日々の納入後訪問を通じてお客様の声に耳を傾け、喜んでいただける商品サービスづくりに取り組んでいます。これからも私たちは「やさしい」にこだわり挑戦を続けていきます。



お客様の「もっと温かい感じのドアがほしい」というご要望から生まれた木製不燃ドアです。



GOOD DESIGN
AWARD 2019

グッドデザイン賞審査委員会の講評

医療施設や福祉施設などにおいて、患者や入居者が安心感や温かみを感じられるよう、長期にわたって利用者の意見を聞き取って検討を続けてきたことが理解できる。基本的にはスライドドアを木製としたことが特徴であるが、それ以外にも利用者の意見からさまざまな工夫を取り入れ、製品バリエーションが拡充されてきた。今回の審査では、シリーズ全体としての製品開発の取り組みが高く評価された。



やさしいポケット【特許取得済】
入居者の方が自分の部屋を認識しやすくするためにつくられたポケットです。



やさしい枠【特許取得済】
「ドアだけでなく、ドアの枠も良くなってほしい」というご要望から生まれた、キズがつきにくい枠です。



やさしいサムターン【特許取得済】
手触りが良く操作しやすいサムターンです。



やさしいロック
入居者の方がぐっすり眠れるようにという願いを込めて、カギの開閉音を最小限にしたロックです。

トイレのオールジェンダー利用

誰もがストレスなく利用できるトイレ環境の実現を目指して、2017年度から性的マイノリティ(LGBTQ+)にも目を向け、金沢大学、株式会社LIXILと産学共同で研究会を発足し、シスジェンダー(※1)・トランスジェンダー(※2)を対象に、継続してトイレの利用実態に関する調査・研究を行っています。調査の結果から、コマニーは「扉」で誰もが安全に安心して使えるトイレ環境づくりに貢献できるのではと考え、非常時外開き機能がある鋼製建具「Fair-d」を開発しました。トイレ利用は、人間の尊厳にも関わる人権の一つです。障害の有無や性のあり方などに関わらず、誰もが快適に利用できるトイレ環境の実現を、これからも追求していきます。

※1 出生時に付けられた性別と性自認が一致し、それに沿って生きる人。トランスジェンダーではない人。
※2 出生時に付けられた性別と性自認が一致しない人の総称。



オールジェンダートイレドア「Fair-d」

3 地球の未来を考える

私たちは、「パーティション」そのものが持つ優秀なエコ特性をより活かしていくため、すべての企業活動を厳しい目でチェックしながら、地球環境保全のためのさまざまな取り組みを実践しています。

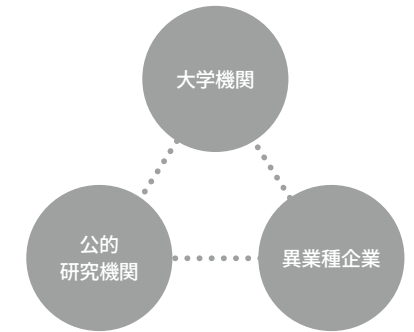
環境マネジメント体制

コマニーは製造・物流・施工・購買・事務・製品・能美工場の7つの部会による「環境保全委員会」を中心に環境保全活動を進めています。



4 新たなチャレンジを続ける

お客様のニーズは常に変化し続け、世の中の技術も進化し続けています。そのお客様の多様なご要望にお応えし、商品付加価値を向上させるために、大学機関や公的研究機関、異業種企業などと共同研究を行い、研究知見を蓄積すると共に、新しい技術・応用技術に対して常にチャレンジしています。



5 感性を刺激する開発プロセス

プロダクトデザインやCMF (Color・Material・Finish) の視点を製品開発プロセスに取り入れ、快適性と機能性を高めることで、人の感性に響く製品づくりを目指しています。なかでもCMFは、空間価値を向上させる重要な要素と位置づけており、色彩がもたらす心理的効果や、素材・仕上げによって生まれる心地よさを追求しています。また、市場トレンドや長年培ってきた空間づくりの知見に加え、ユーザーの声を積極的に取り入れながら、機能性と感性を融合した新たな空間価値の創造に取り組んでいます。





コマニー理念

■ 社 是 ■

一、我等の精神は人道と友愛である

一、我等の生活は共存共栄の中に成り立つべきである

一、我等の使命は社会に貢献すべきである

一、我等は知識を高め技術を磨き絶えず前進すべきである

一、我等は余暇を楽しみより豊かで幸福な人生を送るべきである

■ 経 営 の 理 念 ■

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献する

会社が存在する目的として示しているのが、経営の理念です。

コマニーが存在する目的は、そこに集う全従業員が仕事を通じて物と心の両面の幸福を追求することです。

それは、人間として正しい道（人道）を貫き、自分のためだけでなく、

人のためにという利他の実践を通じて事業の発展によって社会に貢献することで実現できると考えています。

■ 使 命 ■

すべての人が光り輝く人生を送るために、

より良く働き、より良く学び、より良く生きるための

持続可能な環境づくり、人づくりに貢献する

2030年までにコマニーが目指す姿

Empower all Life

一人一人が光り輝く社会に貢献

私たちが目指す企業像は、これまでのように大量生産・大量消費による効率のみを追求する姿ではなく、「持続可能な社会の実現や、関わるすべての人の幸福に貢献し、心豊かな世の中をつくっていくこと」です。かけがえのない一人一人の人生が自分らしく光り輝きつつ、人と人とのつながりがより深まっていくような社会づくりを目指し、取り組んでいきます。

1億人のWell-being向上

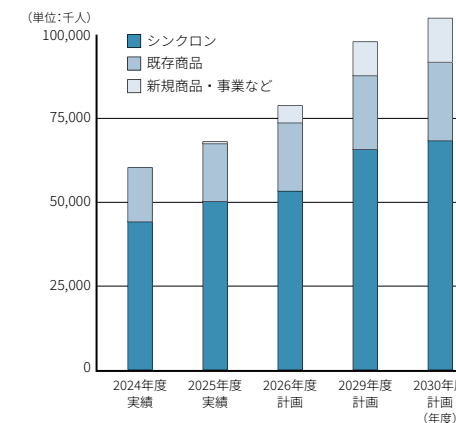
当社の提供している既存商品や新規商品による価値創造、ステークホルダーとの共存共栄による取り組みによって幸福になった人数をウェルビーイング向上の指標とし、2030年までに累積で1億人を目指します。

震度7 相当に耐える空間づくりに貢献するSynchron（シンクロン）

震災リスクを軽減し、安心安全の空間づくりを創造することで、精神的安全性を確保し、ウェルビーイングの向上につなげていきます。

算出イメージ

Synchron（シンクロン）導入数＋技術公開による普及数×利用者数

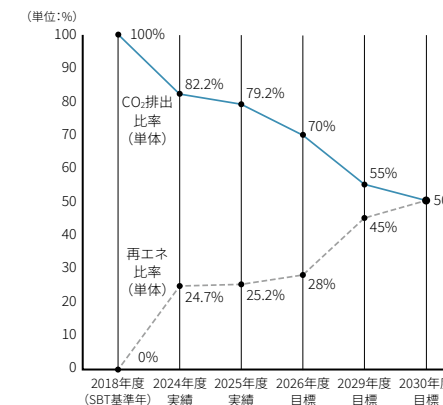


環境負荷50%削減

当社では、2030年までに企業自身が直接排出した温室効果ガス排出量（化石燃料、天然ガスなど）と間接的に排出した温室効果ガス排出量（電気など）を2018年比で50%削減することを目指します。

2030年までのKPI

- ❶ CO₂排出量(単体)：2030年までに2018年比で、Scope1+2における排出量50%削減
- ❷ 再エネ比率(単体)：2030年までに50%
※2040年までに100%（再エネ100宣言 RE Actionより）



■ サステナビリティ ■

SDGs から SWGs へ

(Sustainable Development Goals)

(Sustainable Well-being Goals)

2030 年を達成目標とした SDGs (Sustainable Development Goals) の次に目指すものとして、日本が世界に先駆けて議論を進めているのが、SWGs (Sustainable Well-being Goals) です。

予防医学研究者の石川善樹さんと共に、コマニーは 2026 年 3 月 20 日（国際幸福デー）に、COMANY SWGs 宣言を行いました。

コマニーは、企業活動のあらゆる領域にウェルビーイングを実装し、企業経営によって Sustainable Well-being を実現します。



【SWGs って？】

SWGs は、「人」「社会」「地球」が互いに尊重し合い、調和の中で豊かさと希望を次世代へつないでいく未来志向の枠組みです。その根底には、日本の「和」の精神があり、相互理解に基づく共生を重視しています。さらに、「流域」という生活と自然が交差する単位を実践の場とし、地域から価値創出を図ります。そして、人・社会・地球それぞれのウェルビーイングを高め、その成果を GDW^{*}で可視化することで、持続的で実感ある豊かさの実現を目指します。

^{*} GDW：Gross Domestic Well-being（国内総充実）の略称。その国におけるウェルビーイングを測る新たな指標として注目されている。

COMANY SWGs (Sustainable Well-being Goals) 宣言 — 間づくりで、人・社会・地球の調和をひらく —

私たちは、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」という理念のもと、人道と友愛の精神を原点として、共存共栄の社会を広げていきます。私たちが目指す SWGs は、「誰一人取り残さない」から一歩進んだ、「誰もが幸福になる経営モデル」を実装していく挑戦です。すべての人が光り輝く人生を送ることができる豊かで持続可能な社会を将来世代へ手渡すこと。そのために、私たちは事業と経営のすべてを貫く軸として「間づくり」を掲げます。私たちは「間づくり」を通じて、「人」「社会」「地球」が調和するウェルビーイングな未来を次世代につないでいきます。本宣言は、私たちコマニーが、事業・商品・品質・環境・ガバナンス・業績・従業員の幸福という経営のあらゆる領域を横断し、ウェルビーイング経営を日々の実践として根づかせていく、ここからの約束です。

1. 事業（すぐれた関係性を社会に実装する）
2. 商品（社会課題を価値へ変える）
3. 品質（お客様起点の品質）
4. 環境（流域から始めるネイチャーポジティブ）
5. ガバナンス（ウェルビーイング経営を支えるしくみ）
6. 業績（貢献を継続するために、健全に稼ぐ）
7. 従業員の幸福（働くことを、幸福と成長の源泉にする）

私たちコマニーは、人づくり・組織づくり・文化づくり・顧客づくり・商品づくり・ブランドづくりのすべてを理念と使命に一貫させ、間づくりで「Empower all Life - 一人一人が光り輝く社会に貢献 -」を実現します。そして、このウェルビーイング経営モデルが一企業にとどまらず、多くの企業や社会へ広く応用されることを目指します。

私たちは宣言します。

人道と友愛の精神で、関わるすべての人が幸福を実感できるウェルビーイング経営を、SWGs の実践として深化させ、世界へ広げていくことを。

2026 年 3 月 20 日
コマニー株式会社
代表取締役 社長執行役員

塚本 健太

全文はこちら▶



<https://www.comany.co.jp/swgs/declaration/>



■ 販 売 ネ ッ ト ワ ー ク ■

国内27拠点
充実の販売ネットワーク



本社工場



販売ネットワークの詳細は
弊社ホームページをご覧ください。
<https://www.comany.co.jp/about/network/>

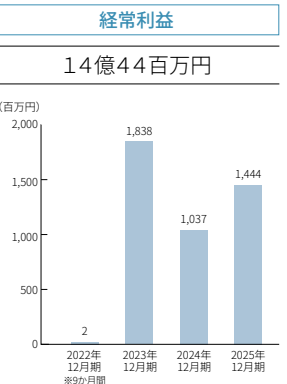
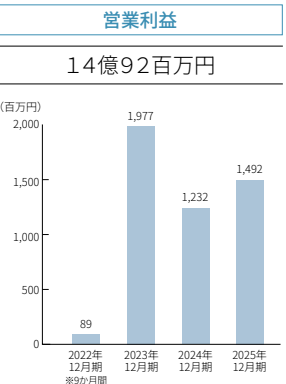
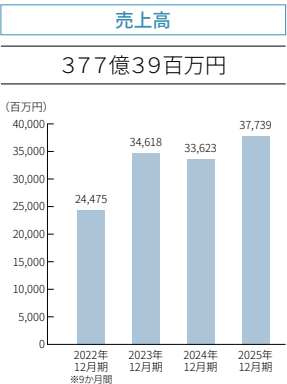
■ 会 社 概 要 (2025年12月31日現在) ■

■ 商 号	コマニー株式会社 COMANY INC.
■ 本 社	石川県小松市工業団地一丁目93番地
■ 本 社 第 一 工 場	石川県小松市工業団地一丁目95番地
■ 本 社 第 二 工 場	石川県小松市工業団地一丁目97番地
■ 本 社 第 三 工 場	石川県小松市工業団地一丁目105番地
■ 本 社 第 四 工 場	石川県小松市工業団地一丁目105番地2
■ 能 美 工 場	石川県能美市粟生町西60-2
■ 設 立	1961年8月18日
■ 資 本 金	100百万円
■ 売 上 高	37,739百万円 (2025年12月期)
■ 従 業 員 数	1,260名
■ 営 業 品 目	・建築工事業 国土交通大臣許可 (特-6)第3669号 ※本社、法人第一営業所のみ許可あり ・内装仕上工事業 国土交通大臣許可 (般-6)第3669号 ・建具工事業 国土交通大臣許可 (般-6)第3669号
■ 取 引 銀 行	北陸銀行、北國銀行、みずほ銀行 三井住友銀行、三菱UFJ銀行、日本政策投資銀行

■ 役員 (2026年3月27日現在)	
代表取締役 会長執行役員	塚本 幹雄
代表取締役 社長執行役員	塚本 健太
取 締 役 専 務 執 行 役 員	東木 太志
取 締 役 専 務 執 行 役 員	塚本 直之
取 締 役 常 務 執 行 役 員	田中 克政
取 締 役 常 務 執 行 役 員	中島 力
社 外 取 締 役	大久保制宇
社 外 取 締 役	梶原 健郎
社 外 取 締 役	前野マドカ
常 勤 監 査 役	元田 雅博
社 外 監 査 役	松垣 哲夫
社 外 監 査 役	鎌田 竜彦
上 席 執 行 役 員	村上謹士郎
執 行 役 員	伴場 秀文
執 行 役 員	山崎 昌樹
執 行 役 員	中嶋 大樹
執 行 役 員	橘 悦規
執 行 役 員	堂前 武志

■ 財 務 デ ー タ (単体) ■

※2022年12月期は、決算月の変更に伴い、
4月から12月の9か月間の数値を
掲載しています。





沿革





いきいき働こう
美しく過ごそう
面白く生きよう
さあ、間づくりしよう

コマニー株式会社

〒 923-8502 石川県小松市工業団地一丁目 93 番地 TEL 0761-21-1144 (代)

第9版 ○この冊子の内容は 2026 年 8 月現在のものです。

B1905-⑧・1-1000

